

30字要約② けずる順番

名前：

点数： / 6問

日付：

見つける → 指さす → 言いかえる → つなぐ → 書く

きょうのルール けずる順番は決まっている。①**同じ内容のくり返し** → ②**かざりの言葉** → ③**具体例**。主張（言いたいこと）と、そのまとめのことばは、最後まで残す。

- ① とても大きな、見上げるほど大きな木が、校庭のまん中に立っている。

くり返しをけずって、二十字以内に整えましょう。

- ② ぼくの大切な、たからものの一つである青い自転車は、祖父がくれた物だ。

かざりをけずって、二十字以内に整えましょう。

- ③ 図書室は静かに使う場所だ。たとえば、話すときは小さな声にし、館内では走らない。

三十字以内でまとめるとき、まっ先にけずってよい部分はどこですか。

- ④ 運動の前には、じゅんび運動をするべきだ。けがを防げるからだ。たとえば、足首を回すとよい。

主張と理由だけを残して、三十字以内でまとめましょう。

- ⑤ この川の水は、おどろくほど、びっくりするくらい、とうめいで、きれいにすんでいる。

二十字以内に整えましょう。

- ⑥ 要約で最後まで残すべきものは何ですか。

二つ答えましょう。

No.022 30字要約② けずる順番 | 解答・ポイント

- ① (例) 見上げるほど大きな木が校庭に立っている。
- ② (例) ぼくの青い自転車は祖父がくれた物だ。
- ③ たとえば以下の具体例 (小さな声・走らない)
ポイント ③具体例は、まとめのことばがあればけずれる。
- ④ (例) けがを防ぐため、運動の前にはじゅんぴ運動をするべきだ。
- ⑤ (例) この川の水はおどろくほどすんでいる。
- ⑥ 筆者の主張 (言いたいこと) / まとめのことば
ポイント けずる練習は、残すものを決める練習でもある。

おうちの方・先生へ (丸つけの窓)

「何をけずったか」を①②③の番号で言わせると、感覚ではなく手順で圧縮できているかが分かります。

まちがえた問題は、「きょうのルール」にもどってもう一度。自分の答えが合っているか不安なときは、答案の写真を日本国語塾TOPまでお送りください。どこが良くて、どこで失点するのかを具体的にお伝えします。(無料相談：
nihonkokugojuku.com ※URLは公開時に確定)

制作：日本国語塾TOP (数強塾グループ/代表 藤原進之介) 制作担当：中村祥・山下翔平 ※「しょうちゃん式」は二人の“しょう”にちなんだ名前です
本紙の文章・設問・解答はすべて書き下ろしのオリジナルです。個人学習および学校・塾での授業利用 (受講者への印刷配布を含む) を認めます。データの再配布・改変・販売・転載は禁止します。© 2026 数強塾グループ 日本国語塾TOP